

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成28年9月29日(2016.9.29)

【公開番号】特開2014-121431(P2014-121431A)

【公開日】平成26年7月3日(2014.7.3)

【年通号数】公開・登録公報2014-035

【出願番号】特願2012-279080(P2012-279080)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

A 6 3 F 7/02 3 1 5 A

【手続補正書】

【提出日】平成28年8月12日(2016.8.12)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、

前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、前記可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、

開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示において、特定演出を実行するか否かを決定する特定演出決定手段と、

前記特定演出決定手段により前記特定演出を実行することが決定されたことにもとづいて、前記識別情報の可変表示中に前記特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、

前記可変入賞装置制御手段は、

前記可変入賞装置を第1開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、前記可変入賞装置を前記第1開放態様とは異なる第2開放態様により開放状態に制御可能であり、

前記第2開放態様により開放状態に制御する場合には、前記可変入賞装置を第1期間にわたって開放状態に制御した後、前記可変入賞装置を前記第1期間よりも長い第2期間にわたって開放状態に制御し、

前記特定演出決定手段は、前記第1開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示と、前記第2開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示とで、異なる割合で前記特定演出を実行すると決定し、

前記報知演出実行手段は、前記可変入賞装置が前記第2開放態様により開放状態に制御されるときに前記報知演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

**【請求項 2】**

始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、

前記識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、前記可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、

前記識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、

前記可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、

前記可変入賞装置制御手段は、

前記可変入賞装置を第1開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、前記可変入賞装置を前記第1開放態様とは異なる第2開放態様により開放状態に制御可能であり、

前記第2開放態様により開放状態に制御する場合には、前記可変入賞装置を第1期間にわたって開放状態に制御した後、前記可変入賞装置を前記第1期間よりも長い第2期間にわたって開放状態に制御し、

前記特定演出実行手段は、前記第2開放態様により開放状態に制御しているときに前記可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく前記識別情報の可変表示において前記特定演出を実行し、

前記報知演出実行手段は、前記可変入賞装置が前記第2開放態様により開放状態に制御されるときに前記報知演出を実行可能である

ことを特徴とする遊技機。

**【手続補正2】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0001

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0001】

本発明は、始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行うパチンコ遊技機等の遊技機に関する。

**【手続補正3】**

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

本発明による遊技機は、始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において、特定演出を実行するか否かを決定する特定演出決定手段と、特定演出決定手段により特定演出を実行することが決定されたことにもとづいて、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を第1開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、可変入賞装置を第1開放態様とは異なる第2開放態様により開放状態に制御可能であり、第2開放

態様により開放状態に制御する場合には、可変入賞装置を第1期間にわたって開放状態に制御した後、可変入賞装置を第1期間よりも長い第2期間にわたって開放状態に制御し、特定演出決定手段は、第1開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示と、第2開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示とで、異なる割合で特定演出を実行すると決定し、報知演出実行手段は、可変入賞装置が第2開放態様により開放状態に制御されるときに報知演出を実行可能であることを特徴とする。

また、始動条件が成立したことにもとづいて識別情報の可変表示を行う遊技機であって、遊技媒体が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させるための可変入賞装置と、識別情報とは異なる普通識別情報の可変表示を行い、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に制御する可変入賞装置制御手段と、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段と、可変入賞装置が開放状態に制御されることを報知する報知演出を実行する報知演出実行手段とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を第1開放態様により開放状態に制御可能であるとともに、可変入賞装置を第1開放態様とは異なる第2開放態様により開放状態に制御可能であり、第2開放態様により開放状態に制御する場合には、可変入賞装置を第1期間にわたって開放状態に制御した後、可変入賞装置を第1期間よりも長い第2期間にわたって開放状態に制御し、特定演出実行手段は、第2開放態様により開放状態に制御しているときに可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において特定演出を実行し、報知演出実行手段は、可変入賞装置が第2開放態様により開放状態に制御されるときに報知演出を実行可能であるように構成されていてもよい。

(手段1) また、本発明によるその他の遊技機は、あらかじめ定められた始動条件が成立(例えば、第2始動入賞口14への遊技球の入賞)したことにもとづいて識別情報(例えば、飾り図柄)の可変表示を行い、当該識別情報の可変表示の表示結果として特定表示結果(例えば、大当たり図柄)が導出表示されたときに遊技者にとって有利な特定遊技状態(例えば、大当たり遊技状態)に制御する遊技機であって、遊技媒体(例えば、遊技球)が入賞しやすい開放状態に変化し、該入賞に応じて始動条件を成立させる可変入賞装置(例えば、可変入賞球装置15)と、識別情報とは異なる普通識別情報(例えば、普通図柄)の可変表示を開始し、当該普通識別情報の可変表示の表示結果として所定表示結果(例えば、当たり図柄、はずれ図柄)が導出表示されたときに、可変入賞装置を開放状態に変化させる可変入賞装置制御手段(例えば、遊技制御用マイクロコンピュータ560におけるステップS455を実行する部分)と、開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示において、特定演出(例えば、図67(B),(E)に示すような態様の特定演出)を実行するか否かを決定する特定演出決定手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS8001を実行する部分)と、特定演出決定手段により特定演出を実行することが決定されたことにもとづいて、識別情報の可変表示中に特定演出を実行する特定演出実行手段(例えば、演出制御用マイクロコンピュータ100におけるステップS8015で選択したプロセステーブルにもとづいてステップS8018,S851を実行する部分)とを備え、可変入賞装置制御手段は、可変入賞装置を、第1期間(例えば、0.1秒)にわたって開放状態に変化させる第1開放状態に制御可能であるとともに、第1期間とは異なる第2期間(例えば、5.3秒)にわたって開放状態に変化させる第2開放状態に制御可能であり(例えば、図20(A)に示すように、低ベース状態であるときに、普通図柄はずれとなつた場合には0.1秒の短期開放のみ行なわれ、普通図柄当たりとなつた場合には5.3秒の長期開放が行なわれる)、特定演出決定手段は、第1開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件にもとづく識別情報の可変表示と、第2開放状態中に可変入賞装置に遊技媒体が入賞したことに応じて成立した始動条件の成立にもとづく識別情報の可変表示とで、異なる割合で特定演出を実行すると決定する(例えば、演出

制御用マイクロコンピュータ100は、ステップS6008でYのときのみ(すなわち、5.3秒の長期開放が行われた場合のみ)ステップS6011,S6012の処理を行つて特定演出を実行すると決定する場合がある)ことを特徴とする。

そのような構成により、特定演出が単調となることを防止することができ、遊技に対する興趣を向上させることができる。